

教職員に求められる力＝「生徒指導力」の育成

① 確かな子どもづかみ

- ・子どもの話を聞く
- ・肯定的態度(子どものことをもっと知りたい)

② 伸ばしたい方向へ導く

- ・広い見識と知識
- ・子どもの心に響く「パワーワード」

③ 自己指導能力の確立

- ・自己存在感の感受
- ・共感的人間関係の育成
- ・自己決定の場の提供
- ・安心・安全な風土の醸成

生徒指導に関する法令等の理解

- ・「子どもを守る」という視点から法令等の知識を身につける。
- ・生徒指導事例の教職員間の共有を図り、事例研修や対応のロールプレイを通じた、実践的な生徒指導対応を強化する。
- ・体罰や暴言などによる不適切な指導を防ぐ(コンプライアンスの徹底)
⇒打合せ等で計画的に研修を行う

生徒指導の重層的支援構造

- ・不登校傾向、不適応傾向がみられる児童生徒の実態の把握と改善をめざす組織的な対応
- ・全ての児童が対象である「発達支持的生徒指導」と「課題未然防止教育」の工夫と実践を通して、積極的な生徒指導の展開
- ・保護者・地域、関係機関との連携強化

チーム学校による生徒指導体制

- ・組織的、系統的な対応で児童の予想される姿に対応できる指導力を磨き、子どもたちの居場所づくりを進める。
- ・「働き方改革」と生徒指導の充実を両立させる「チーム学校」を実効的に機能させる。
- ・地域の教育資源を整理して、学校の教育活動中に効果的に組み込む